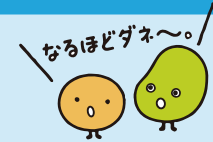




北海道クリーン農業イメージキャラクター
ハタケダ博士&くりんだね

環境にやさしいクリーン農業 ～畑の生きものたち～


北海道では、健全な土づくりに努め、化学肥料や化学合成農薬の使用をできるだけ減らすなど、環境との調和に配慮した「クリーン農業」に取り組んでいます。



クリーン農業の畑に行ってきたよ!!

ハタケダ博士 ハ くりんだね く

ハ：いろんな生きものがいるネ


く：あっ、細長くなって隠れちゃった 



細なが〜い!

ハ：脚の長〜いクモだよ

イネにイタズラするウンカという虫を捕まえてくれるのダ!

く：博士〜、あの丸いのは何ダネ? 

ハ：アブラムシが硬くなったもので、

マミーっていうんだよ

く：マミー?? なんて動かなくなったの?


ハ：大豆やじゃがいもに悪さするアブラムシをハチが固めちゃうのダ!

く：葉っぱの裏に何かいるよ! 

ハ：いろいろなクモがいるネ

キャベツにちょっかいを出す

アブラムシから守ってくれるのダ!

く：何だかにぎやかダネ! 

ハ：クリーン農業はいろいろな生きものの

暮らしとともにあるのダ!

く：なるほどダネ〜



くりんだね



ハタケダ博士

農業試験場の研究では、化学合成殺虫剤の散布を減らすことにより、害虫を食べる天敵生物の個体数の増加が確認されています。クリーン農業への取組は多様な生きもの暮らしの保全に貢献しています。



解説するのダ!

水 稲

田んぼで育つイネの繁みには、アシナガブモが巣を作っていて、作物の収量が減る害を起こすヒメトビウンカなどが網にかかると、すばやく動いて捕まえます。驚くと巣から逃げ出して、近くの葉っぱに止まって足を伸ばして細長くなって隠れてしまいます。

大豆、ばれいしょ

作物の生育障害を起こすジャガイモヒゲナガアブラムシがいて、葉っぱの裏には、マミーという硬くなったアブラムシが見られます。これはギフアブラバチが寄生したもので、ハチが羽化して脱出すると、丸い穴が空いた抜け殻になります。

キャベツ

キャベツの株の周りには様々なクモが暮らしていて、作物の生育障害を起こすアブラムシを食べます。大きな葉っぱの裏面や、地面と葉っぱの間に巣を作ることが多く、地面を歩いたり、巣の近くに隠れていたりすることもあります。



北海道安心ラベル

YES! cleanマークは北海道生まれ。クリーン農産物の目印です。

北海道クリーン農業推進協議会

yesclean

検索



※ 本記事は、北海道立総合研究機構「天敵生物の発生量増加によるクリーン農業の環境保全効果の確認(H24)」の「指標種観察マニュアル」に基づき、わかりやすい表現に変えて作成しています。